

2021年4月25日

呼吸器外科に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 呼吸器外科手術症例での気管支断端被覆の効果について調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部 呼吸器外科 講師 呉 哲彦

[研究の目的] 肺切除術後の合併症の一つである気管支断端瘻は重篤な合併症です。その予防のために気管支断端を生体組織で補強しますがその方法や材料は様々です。そこでどのような気管支断端被覆が良いのか、またその効果はどうであるのかを手術症例の経過から調べています。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2000年1月1日から2020年12月31日の間に香川大学医学部附属病院 呼吸器外科で肺切除を受け、気管支断端を生体組織で補強する手術を受けられた方。

利用する検体・診療情報

検体：特になし

診療情報：年齢、性別、栄養状態、肺機能、併存疾患、原疾患の診断名、画像検査(CT、胸部レントゲン)結果、血液検査(血算、生化学、腫瘍マーカー)結果、病理検査(手術標本評価からの診断名、転移、浸潤の有無)結果、肺癌の病期、術前入療法の種類と有無、手術記録(術式、手術内容、気管支断端被覆材料)、気管支断端被覆の材料、術後の経過、気管支断端瘻発生の有無、治療法、その他の合併症の有無とその管理法、臨床経過情報を調べ記録します。

[外部への検体・診療情報の提供]
予定していません。

[外部からの検体・診療情報の提供]
予定していません。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 呼吸器外科

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる

情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院呼吸器外科 担当医師 吳 哲彦

電話 087-891-2191 FAX 087-891-2192